

# 平成 28 年度事業報告

## I. 調査研究事業部門

平成 28 年度事業計画に基づき、嗜好品と人間・社会に関する社会科学分野の調査研究や「嗜好品文化研究会」との嗜好品に関する横断的なテーマについての共同研究、およびたばこ史・たばこ産業史上有意義な文献資料等の収集、取り纏めに取り組んだ。また、嗜好品の人文・社会科学等の分野に関する研究助成事業や研究成果等に関する普及啓発事業を実施した。

### 1. 調査研究事業

当年度に実施した調査研究活動は次のとおりである。

- (1) 嗜好品と人間・社会に関する調査研究
- (2) 嗜好品文化研究
- (3) たばこ史・たばこ産業史研究
- (4) たばこ神社に関する調査・研究
- (5) 研究関連情報の整備

### 2. 研究助成事業

平成 28 年度採択の研究に対する助成及び平成 27 年度助成研究の報告会を実施した。平成 27 年度研究助成の成果は助成研究報告書を作成し、国会図書館に納本するとともに、要約版と報告書全編を TASC ウェブサイトに掲載した。また、平成 29 年度分の応募研究について、審査・採択を実施した。

### 3. 普及啓発事業

当年度に実施した普及啓発活動は次のとおりである。

- (1) TASC 定期出版物の発行
  - ① 研究誌「談」106号～108号を発行した。
  - ② 機関誌「TASC MONTHLY」484号(4月号)～495号(3月号)を発行した。
  - ③ 研究誌「たばこ史研究」136号～139号を発行した。
  - ④ 「平成 27 年度事業概要」を発行した。
- (2) 書籍等の発行
  - ① 「江戸川柳で読み解くお茶」(清博美・谷田有史 共著)
  - ② 「日本のたばこ信仰ーたばこ神社を中心にー」(加原奈穂子)
- (3) TASC ウェブサイトによる情報発信

## Ⅱ. 博物館事業部門

今年度の入館者数は、64,353人となり、リニューアルオープン後累計で11万人を超えた。また、のべ5回の特別展を開催し、特に、夏休み学習室では2万人を超える入館者を迎え、参加者の満足度も高かったことをはじめ、いずれの特別展も好評であった。

開館2年目を迎え、多様な来館者の満足度向上および博物館機能の充実・強化を最優先として、下記のとおり取り組んだ。

### 1. 博物館業務および運営体制の見直し・改善・安定化

一年間の活動を通じた各種知見の蓄積を踏まえ、業務・運営面での課題等への対応を適時に行い、質の高い入館者サービスの維持に努めた。

### 2. 館の活性化

- (1) 常設展示室における音声ガイドのトライアル導入。(2ヶ月間実施)
- (2) 開館40周年記念行事の平成30(2018)年実施に向け、その準備に着手。

### 3. 博物館収蔵庫における史・資料保管体制の確立

収蔵資料の整理、収蔵庫の定期的な環境モニタリングおよびIPM(総合的有害生物管理)の試験的運用を行うなど、収蔵庫内の環境整備をはじめ資料の保管体制の確立を進めた。

### 4. 調査研究活動

平成28(2016)年度以降の展示企画に向けたテーマおよび「たばこと塩の歴史と文化」並びに収蔵資料に関する調査研究を着実に推進した。

### 5. 積極的な対外広報活動

#### (1) 情報発信活動

年間5回の特別展および展示関連講演会・イベント等の開催、常設展示ガイドブック英語版・展示図録・展示ブックレットの発刊。常設展示の展示替等を実施。

#### (2) 周知広報・PR

HP、メトロ最寄り駅駅貼りポスター、周辺施設における屋外看板の設置等を通じた所在地周知PR・アクセス案内、およびHP、リリース配信、新聞およびインターネット等多様なメディアを通じた特別展・イベント等の周知を実施。

### 6. 資料収集・整理・保存

90件の寄贈資料を収集・登録、6点の資料購入、ポスターの実物資料収集等を実施。

### 7. その他の活動

職員研修、博物館実習受入(6名)等を実施。